

ユーザーズガイド

2309p

2509p

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

HP 以外によって製造された装置上のソフトウェアの使用または信頼性につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HP の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Hewlett-Packard Company

10955 Tantau Avenue

Cupertino, California 95014-0770

USA

© Copyright 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標です。

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP はテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HP の製品を著作権法で許可されていない目的で使用することを是認も推奨もいたしません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

ユーザーズガイド

2309p

2509p

初版 2009年10月

製品番号：575820-291

日本ヒューレット・パカード株式会社

表記規則

次の項では、この文書で使用されている表記規則について説明します。

警告、注意、および注

このガイドの全体にわたって、文章にアイコンが付いている場合があります。これらの文章は警告、注意、および注を示し、次のように使用されています。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。



注：補足情報を表します。

目次

表記規則	1-iii
警告、注意、および注	1-iii
1 製品の特長	
HP LCD モニター	1-1
特長	1-1
2 安全および保守に関するガイドライン	
安全に関する重要な情報	2-1
安全に関する注意事項	2-1
保守に関するガイドライン	2-2
モニターの清掃	2-2
3 モニターのセットアップ	
モニターの梱包を解く	3-1
モニターの取り付け	3-1
モニターを机で使用する場合の準備	3-1
モニターを壁に取り付ける場合の準備	3-3
VGA（アナログ）または DVI-D（デジタル）ケーブルの接続	3-5
VGA ケーブルを接続するには	3-5
DVI-D ケーブルを接続するには	3-5
HDMI ケーブルの接続（一部のモデルのみ）	3-6
オーディオおよびビデオケーブル / アダプター	3-6
HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）	3-7
オーディオケーブルの接続	3-7
USB ケーブルの接続（一部のモデルのみ）	3-7
モニターへの USB デバイスの接続（一部のモデルのみ）	3-8
電源コードの接続	3-8
ケーブルの取りまとめ	3-9
方向の調整	3-10
角度の調整	3-11
左右の向きの調整	3-11
モニターの高さの調整	3-12
キーボード収納スペース	3-12
4 モニターの操作	
CD ソフトウェアおよびユーティリティ	4-1
ドライバーのインストール	4-1
インターネットからの最新ドライバーのダウンロード	4-1
Pivot Pro ソフトウェア	4-1
自動調整機能の使用	4-2
前面の各部	4-3
オンスクリーンディスプレイ（OSD）の使用	4-3
OSD メニューの選択	4-4
ビデオ入力コネクターの選択	4-7
モニターの状態の確認	4-7
画質の調整	4-8
アナログビデオの最適化	4-8
省電力機能	4-8
Web カメラ（一部のモデルのみ）	4-9
Web カメラからのビデオおよびスナップショットのキャプチャ	4-9
ビデオチャットの実施	4-10
5 モニターを運搬するための準備	
モニターを運搬するための準備	5-1

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法	A-1
HP Web サイトからのサポート情報の入手	A-3
お問い合わせになる前に	A-3
製品ラベルの位置	A-3

B 技術仕様

HP LCD モニター	B-1
プリセットビデオおよび HD モード	B-3
LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針	B-4
電源コードの要件	B-4

C 規定に関するご注意

有害物質の破棄	C-1
化学物質	C-1
電源コードについて	C-1
日本における含有物質の表示	C-1
HP リサイクルプログラム	C-1

D 索引

HP LCD モニター

HP LCD（液晶ディスプレイ）モニターでは、アクティブマトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）画面を採用しています。このガイドでは、次のモデルについて説明します。

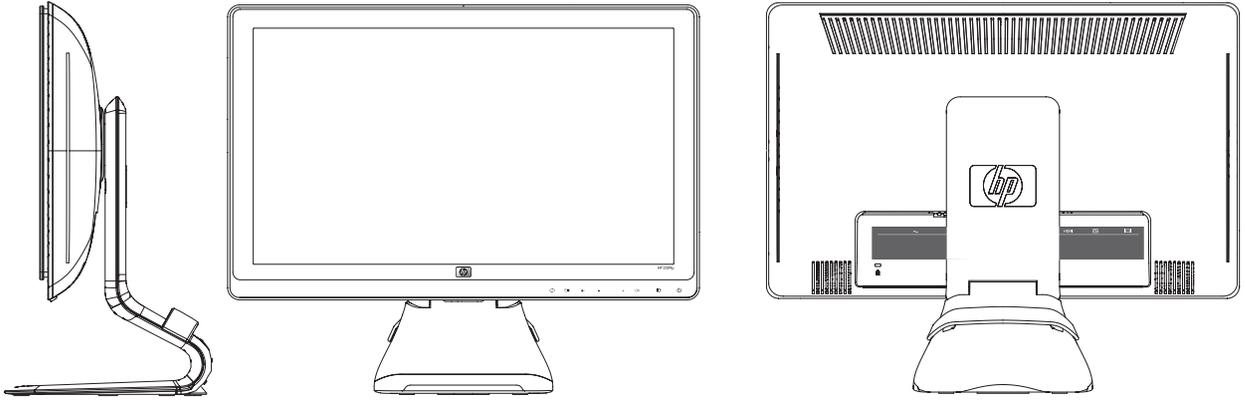
- 2309p LCD モニター
- 2509p LCD モニター

特長

- 対角表示領域の大きな、ワイドディスプレイ
- 最適な解像度：1920 × 1080（60 Hz の場合）
上記の解像度以下でのフルスクリーンサポート
- サポートされるビデオ入力：
 - VGA アナログ信号
 - DVI デジタル信号
 - HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
- [+] と [-] スイッチ間のスライダー機能により、OSD メニューのスクロールとスケールの調整を高速化
- すばやい応答により、ゲームやグラフィックスの操作性を向上
- 座った状態、立った状態など、上下左右さまざまな角度から見やすい画面
- 上下の向きの調整：-5° ~ +25° 回転（一部のモデルのみ）
- 左右の向きの調整：90° 回転（一部のモデルのみ）
- スライダーによる高さ調整
- 取り外し可能な脚部、および壁など設置場所に応じて簡単に取り外しができる VESA（Video Electronics Standards Association）基準の取り付け穴
- セキュリティロックケーブル用のセキュリティロックスロット（セキュリティロックケーブルは別売です）
- プラグアンドプレイ機能（お使いのコンピューターシステムでサポートされる場合）
- 設定や画面の最適化を簡単にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による調節機能（英語、簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、日本語、ブラジルポルトガル語を選択可能）
- 高音質の内蔵ステレオスピーカーを搭載
- キーボード収納スペース
- 省電力機能
- [Quick View]（クイックビュー）設定による画面表示
- ケーブルマネジメント機能
- 4 つの USB 2.0 ポートを装備、4 つのうち 1 つを内蔵 Web カメラ専用として使用（一部のモデルのみ）

■ CD に収録されている内容 :

- ドライバー
- 自動調整ソフトウェア
- 説明書
- Adobe® Reader
- Pivot Pro ソフトウェア



安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

電源コードは、お使いのモニターでの使用を目的として設計されています。別のコードを使用する場合は、このモニターに対応した電源および接続先のみを使用してください。



警告：モニター、コンピューター、およびその他の装置は必ずアースされた電源コンセントに接続してください。感電や装置の損傷を防ぐため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。



警告：安全のために、電源コードを差し込む先のアースされた電源コンセントが、装置にできるだけ近く、手の届きやすい場所にあることを確認してください。装置への外部電源の供給を遮断する時は、プラグをしっかりと持って電源コードを電源コンセントから抜いてください。コードは引っ張らないでください。



注意：お使いのモニターやコンピューターを保護するために、コンピューターおよびその周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードを、サージ防止機能のあるマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ保安器に接続してください。

すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。サージ防止に失敗した場合はお使いの機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

安全に関する注意事項

- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、また電源コードに接続する機器の定格電流の合計が電源コードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（Amps または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外す時は、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。

保守に関するガイドライン

お使いのモニターの性能を向上させ、長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- このマニュアルに記載されている調整機能のみを使用するようにしてください。
- モニターを使用していない時には、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していない時に電源を切るようにすると、モニターを長くお使いいただけます。
- モニターは通気の良い場所に設置し、過度の高熱や湿気にさらさないようにしてください。
- キャビネットのスロットや開口部は通気のために用意されています。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- 清掃の前に、モニターの電源コードを電源コンセントから抜いてください。液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- モニター台を取り外す時は、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロントパネルを下にして置いてください。

モニターの清掃

モニターは、清掃を行う場合に特別な注意が必要な、高品質のオプティカルデバイスです。モニターの清掃は、以下の手順で行います。

1. コンピューターとモニターの電源を切ります。
2. 清掃の前に、モニターの電源コードを電源コンセントから抜きます。



注意：ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニター画面やキャビネットを拭かないでください。このような化学薬品を使うと、モニターが損傷することがあります。液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないでください。LCD 画面を拭く時に水は使用しないでください。

3. 乾燥した、柔らかい清潔な布で画面を拭きます。
画面をさらに清掃する必要がある場合は、静電気防止剤の入った市販のクリーナーを使用してください。
4. モニター筐体のほこりを取ります。軽く湿らせた布を使用してキャビネットを拭きます。
キャビネットをさらに清掃する必要がある場合は、イソプロピルアルコールで軽く湿らせた清潔な布を使用してください。
5. モニターの電源コードを電源コンセントに差し込みます。
6. モニターとコンピューター本体の電源を入れます。

モニターのセットアップ

モニターの梱包を解く

1. モニターの梱包を解き、内容物がすべて揃っていることを確認します。梱包箱は保管しておきます。
2. コンピューターおよびその他の接続された装置の電源を切ります。
3. モニターを机に置くか、または壁に取り付けるかを決めます。「モニターの取り付け」を参照してください。
4. モニターを設置するための平らな場所を準備します。設置準備の間、モニター画面を下向きにして置くために、平らで柔らかい、安全な場所が必要になる場合があります。
5. モニターを壁に取り付けるには、プラスのドライバーが必要になります。また、一部のケーブルを固定するためにマイナスのドライバーが必要になる場合があります。

モニターの取り付け

モニターは机に置くことも、壁に取り付けることもできます。モニターは作業がしやすく通気の良い、コンピューターの近くの場所に置くようにしてください。

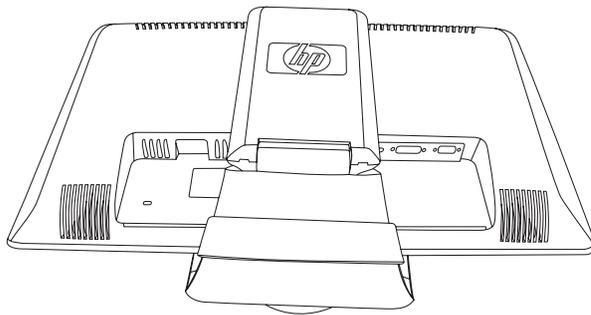
モニターの取り付けが終了したら、モニターケーブルを接続してください。

モニターを机で使用する場合の準備



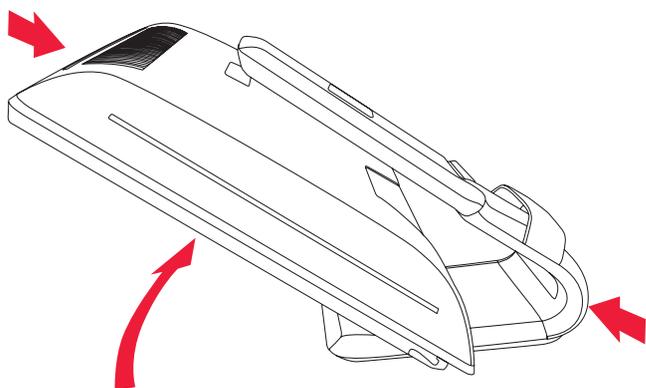
注意：画面は壊れやすいものです。LCD画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。モニターを開くときは、パネルの上部を持ち上げてください。

1. モニター画面を下向きにして、平らで柔らかい、安全な場所に置きます。



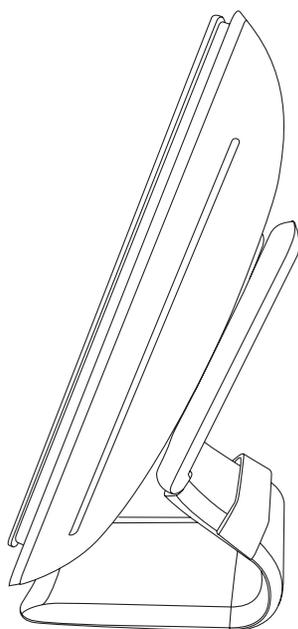
モニター台を折りたたんだ状態

2. モニター台の下部を片手で持ち、モニターの上部を別の手で持ちます。次に、モニターの上部を目的の位置まで持ち上げます。



モニターを直立させる

3. モニターを直立した状態になるまで持ち上げ、平らで安定した場所に置きます。モニターを押し下げて、ロックを解除します。



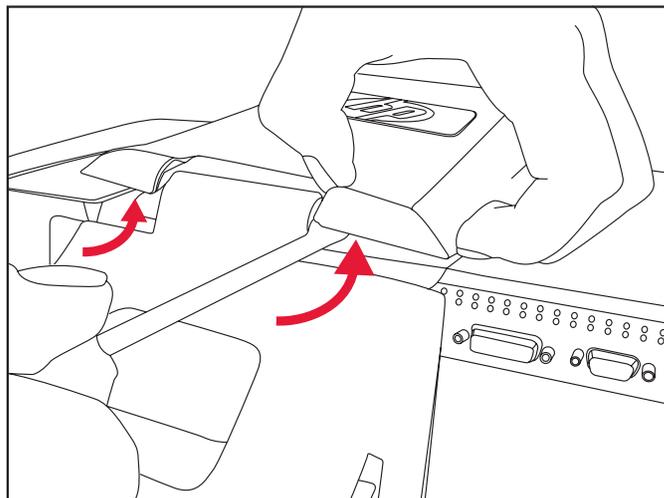
モニターを開いた状態

モニターを壁に取り付ける場合の準備



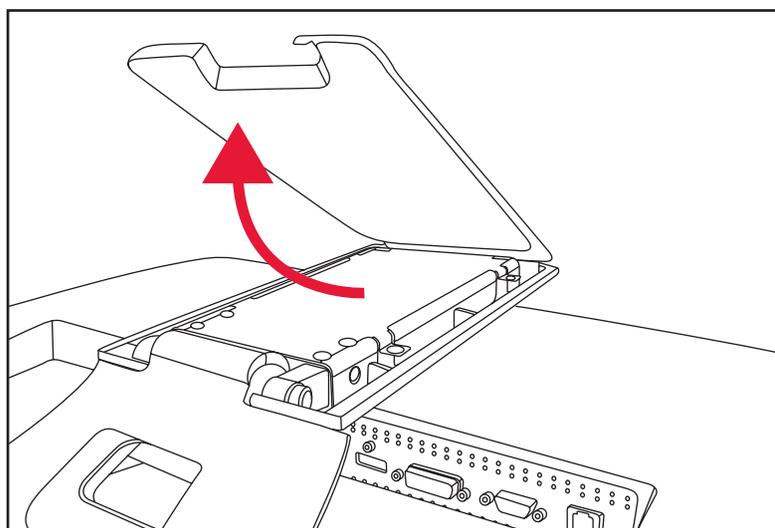
警告：けがや装置の損傷を防ぐため、モニターを取り付ける前に、固定器具が正しく取り付けられしっかりと固定されていることを確認してください。固定器具の説明書を参照し、このモニターの重さに耐えられるものであることを確認してください。

1. 電源コードおよびその他のケーブルをすべてモニターから取り外します。
2. モニター画面を下向きにして、平らで安全な場所に置きます。
3. モニター台のカバーのスロットにドライバーを差し込んで、カバーを取り外します。



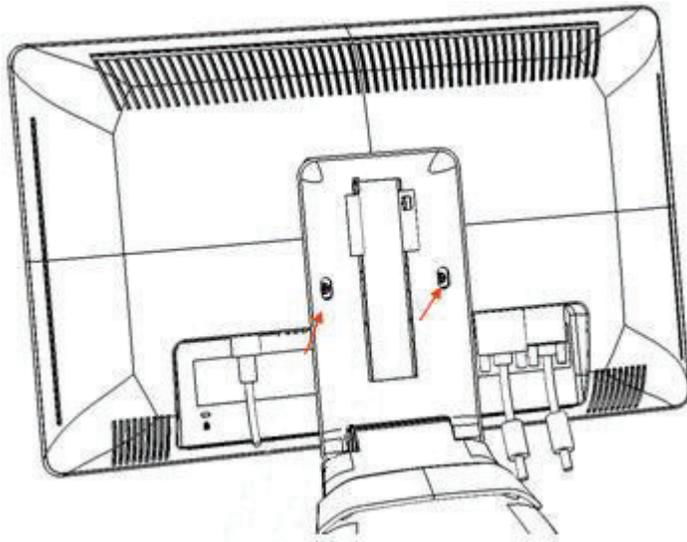
スロットにドライバーを差し込んでモニター台のカバーを取り外す

4. モニターの下部からのカバーを引き離します。

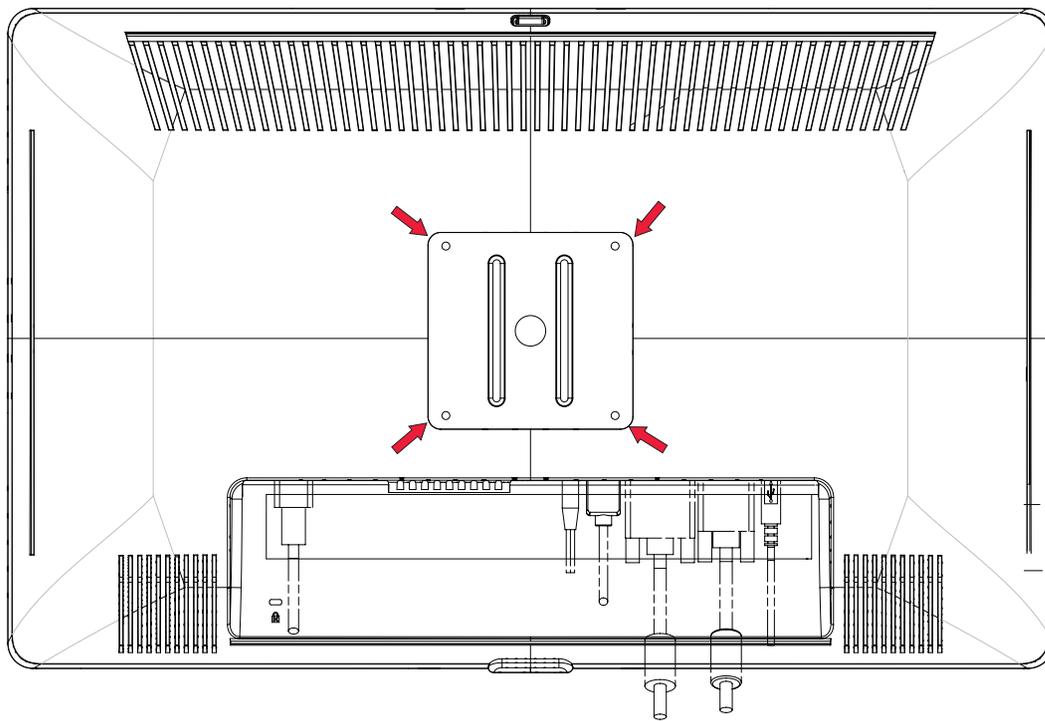


モニター台のカバーをモニターから取り外す

5. モニター台内部の 2 つのネジを取り外します。モニター台をモニターから持ち上げて外します。



モニター背面からのプレートの取り外し
4 つの穴が見えるようになります。これはスイングアームなどの固定器具をモニター背面に取り付けるためのネジ穴です。

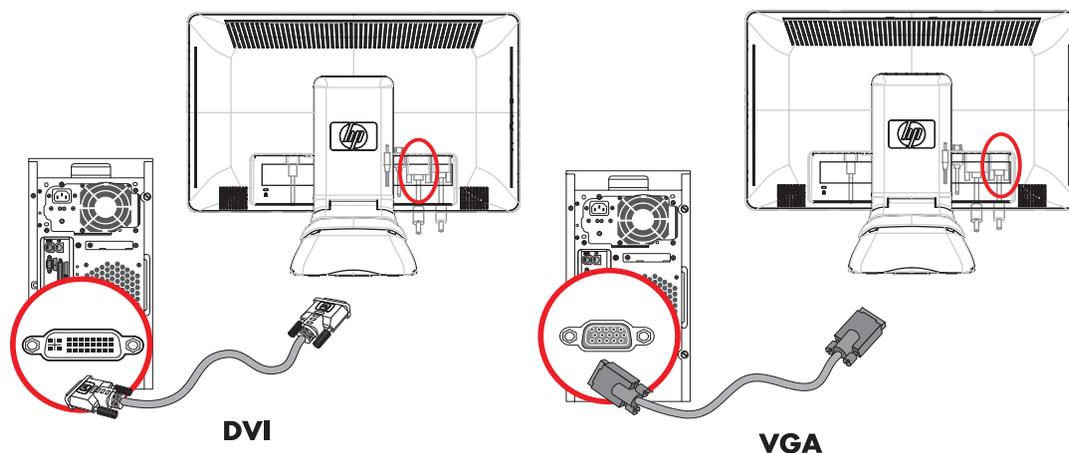


壁に取り付けるためのネジ穴

6. 固定器具に付属の説明書に沿って、モニターを安全に取り付けます。
パネルの背面にある 4 つの穴は、フラットパネルモニターを取り付けるための VESA 基準に準拠しています。
7. スイングアームまたはその他の固定器具を取り付けます。

VGA（アナログ）または DVI-D（デジタル）ケーブルの接続

VGA ケーブルまたは DVI-D ケーブル（一部のモデルに付属）を使用してください。DVI を使用するには、DVI 対応のグラフィックスカードが必要です。コネクタはモニターの背面にあります。コンピューターおよびモニターの電源が切れており、電源コードを抜いてあることを確認してください。



VGA または DVI-D ケーブルの接続：コネクタの位置は異なる場合があります

VGA ケーブルを接続するには

VGA ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターの VGA ビデオコネクタに接続します。

DVI-D ケーブルを接続するには

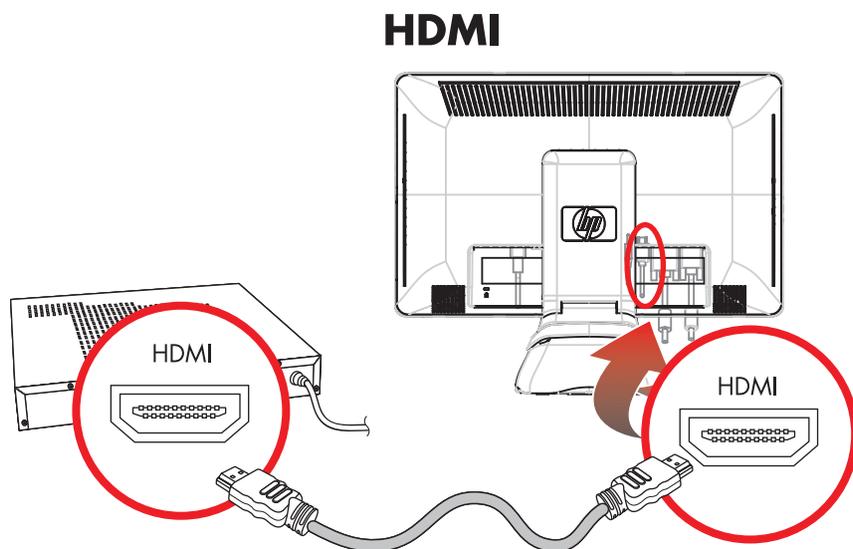
DVI-D ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターの DVI ビデオコネクタに接続します。DVI 対応のグラフィックスカードがコンピューターに接続されている場合にのみ、このケーブルを使用できます。DVI-D コネクタおよびケーブルは、一部のモデルのモニターにのみ含まれています。



注：DVI-HDMI アダプターを使用する場合は、スピーカーを有効にするために、緑色のオーディオケーブルを接続する必要があります。DVI コネクタから送信される信号は、ビデオ信号のみです。

HDMI ケーブルの接続（一部のモデルのみ）

HDMIケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をコンピューターのHDMIコネクタに接続します。

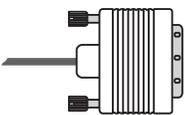


HDMI ケーブルの接続：コネクタの位置は異なる場合があります

オーディオおよびビデオケーブル / アダプター

以下の表に、コンピューター、テレビ、またはセットトップボックスにモニターを接続するために必要な可能性のあるケーブルおよびアダプターの種類を示します。

必要なケーブルの数および種類は、モデルにより異なる場合があります。一部のケーブルおよびアダプターは一部のモデルにのみ含まれており、お使いのモデルによっては別途購入する必要があります。

ケーブル / アダプター	名称	説明
	HDMI ケーブル	HDMI はデジタル信号を送受信します。DVD または DVR（ハードディスクレコーダー）から再生する場合に推奨します HDMI はビデオ、オーディオ、および制御信号に対応しているため、非圧縮デジタルオーディオ信号およびデジタルビデオ信号の両方を送受信できます
	DVI ケーブル	DVI はデジタルビデオ信号を送受信します
	VGA ケーブル	VGA はアナログビデオ信号を送受信します



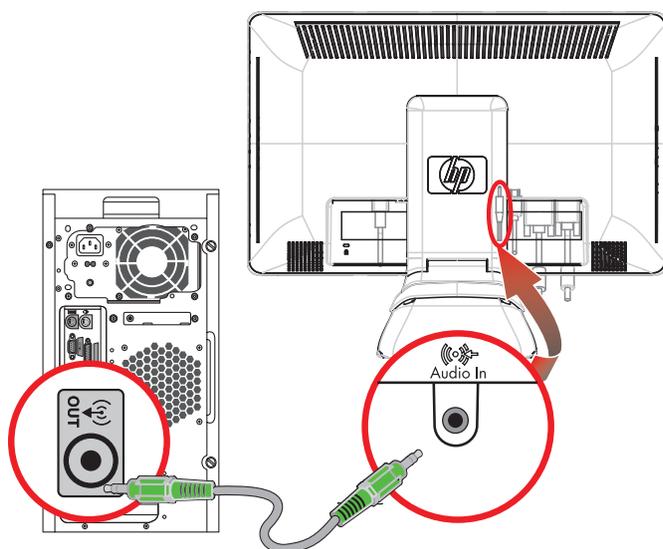
注：VGA または DVI 信号を使用する時は、オーディオを別個に接続する必要があります。これは、VGA や DVI 信号がビデオデータのみを送受信し、オーディオデータは送受信しないためです。HDMI 信号ではビデオおよびオーディオデータの両方を送受信できるため、HDMI 信号を使用するときは、オーディオを別個に接続する必要はありません。

HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)

お使いのモニターが HDCP をサポートしている場合は、高精細度コンテンツを受信できます。高精細度コンテンツは、ブルーレイディスク機器や、地上波またはケーブルテレビの高精細度放送などの多くのソースで使用されます。お使いのモニターが HDCP に対応していない場合は、保護された高精細度コンテンツを再生すると、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示されることがあります。保護されたコンテンツを表示するには、コンピューターのグラフィックスカードとモニターの両方が HDCP をサポートしている必要があります。

オーディオケーブルの接続

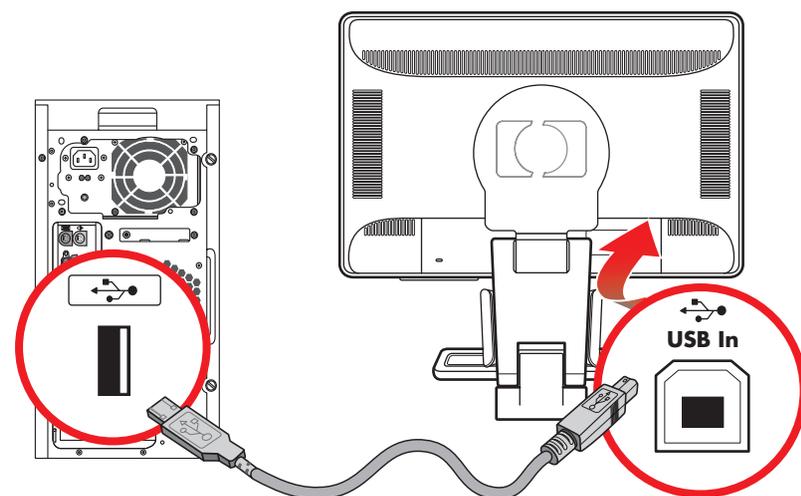
次の図に示すように、オーディオケーブルを使用して内蔵のモニタースピーカーをコンピューターに接続します。



オーディオケーブルの接続：コネクタの位置は異なる場合があります

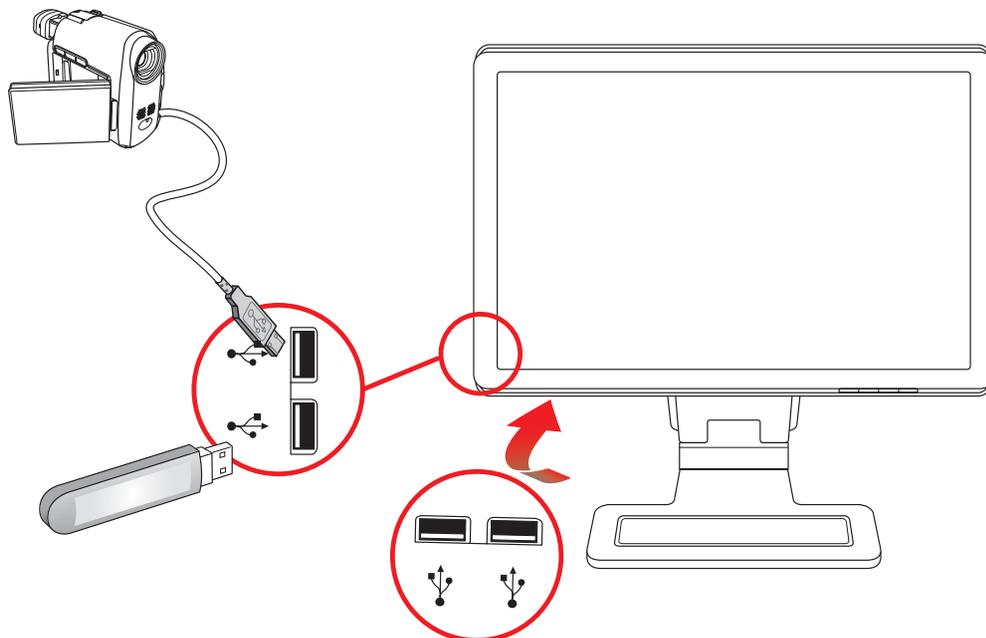
USB ケーブルの接続 (一部のモデルのみ)

USB ケーブルを、コンピューターからモニターの USB In コネクタに接続します。これにより、モニターの USB 2.0 ポートを使えるようになります。



モニターへの USB デバイスの接続（一部のモデルのみ）

モニターには USB デバイス（USB フラッシュドライブ、デジタルビデオカメラなど）をコネクタの数と同数接続できます。これを行うには、先にコンピューターとモニターを USB ケーブルで接続しておく必要があります。



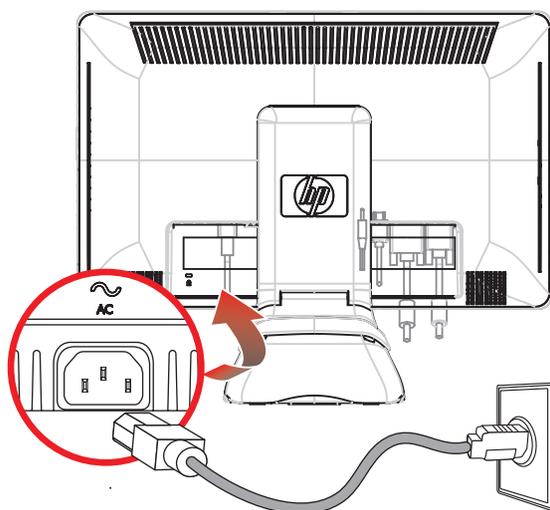
電源コードの接続



警告：感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。電源コードはアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 電源コンセントは、装置にできるだけ近く、手の届きやすい場所にあることを確認してください。電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。
- 電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。

詳しくは、「技術仕様」を参照してください。



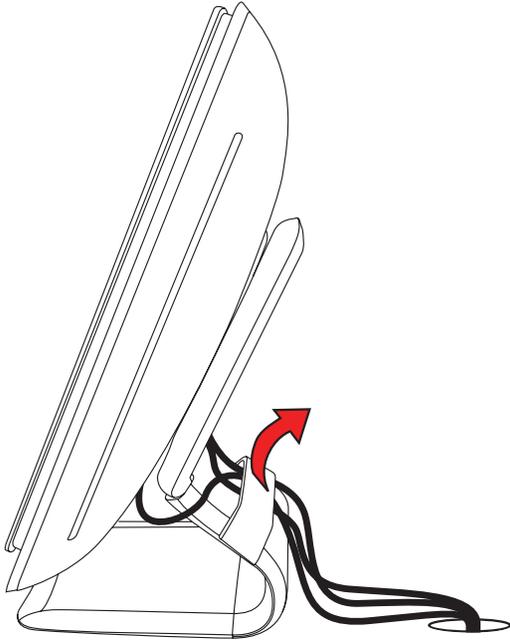
電源コードの接続

電源コードの一方の端をモニターに接続し、もう一方の端をアースされた電源コンセントに接続します。

ケーブルの取りまとめ

HP LCD モニターには、ケーブルマネジメント機能が装備されています。

1. 必要なケーブルをすべてモニターに接続します。
2. ケーブルマネジメントブラケットをモニター台から取り外します。
3. モニターの両側からケーブルを寄せて、モニター台の上に乗せます。
4. カチッという音がするまで、ケーブルマネジメントブラケットをモニター台位置に固定して、ケーブルを取りまとめます。ケーブルがモニターの前面から見えにくくなります。

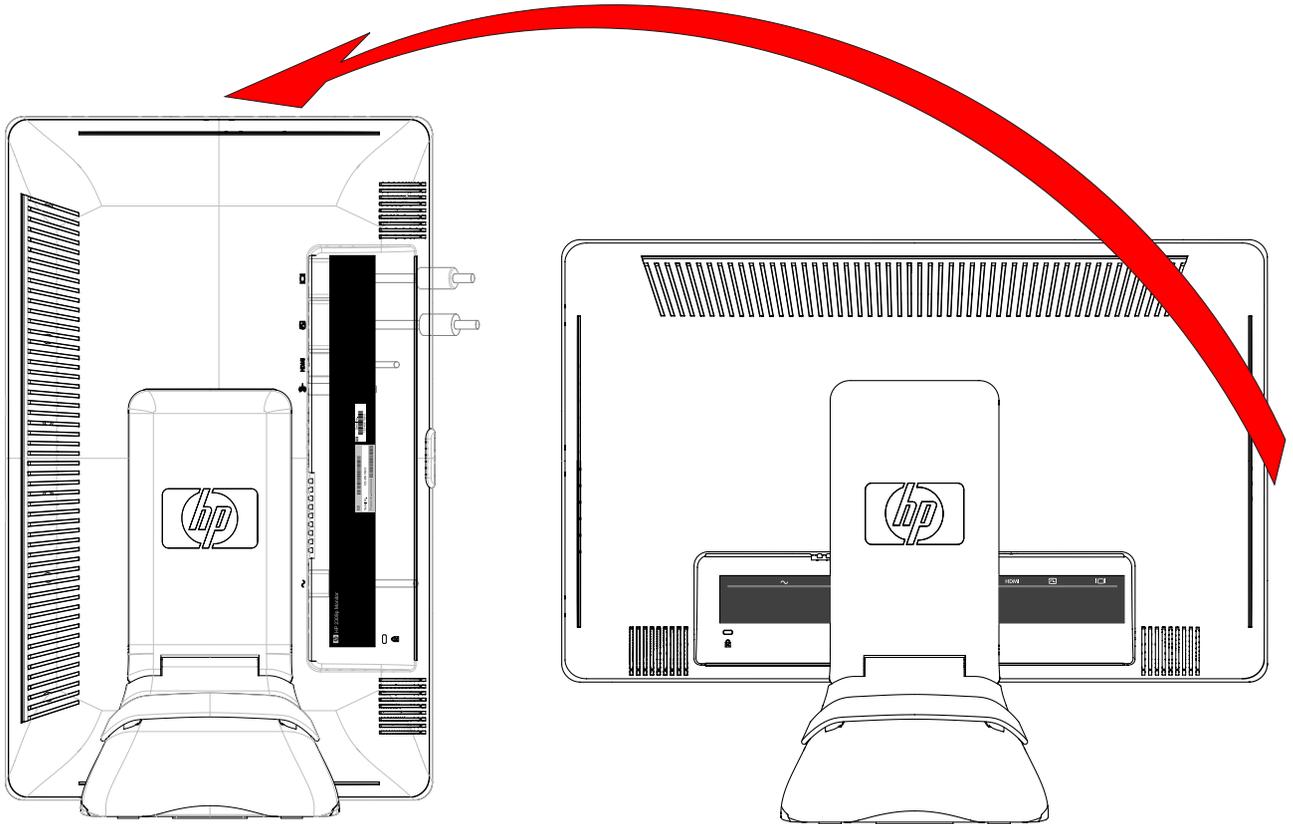


取り外し可能なブラケットにモニターケーブルを通す

方向の調整

モニターの縦横の向きを回転させると、すべてのコネクタに手が届きやすくなります（一部のモデルのみ）。詳しくは、「Pivot Pro ソフトウェア」を参照してください。

1. 縦横の向きを調整している時にモニターが倒れないように、モニター台を正面から押さえます。
 フル回転：モニターが 90° 回転して縦向きになります（一部のモデルのみ）。
 部分回転：モニターが 45° 回転します（一部のモデルのみ）。
2. コネクタを接続したら、モニターを横向きに戻します。

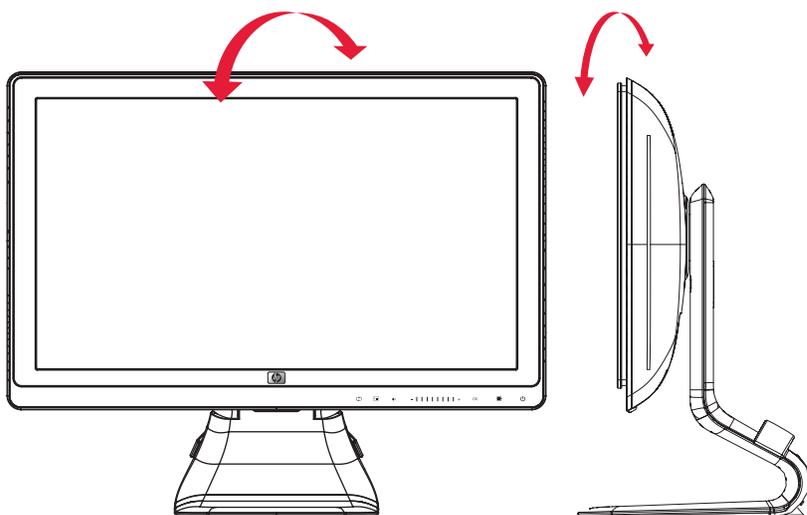


モニターを完全に縦向きに回転させた状態（一部のモデルのみ）

角度の調整

画面を見やすくするために、次のように、好みに応じて上下の向きを調整します。

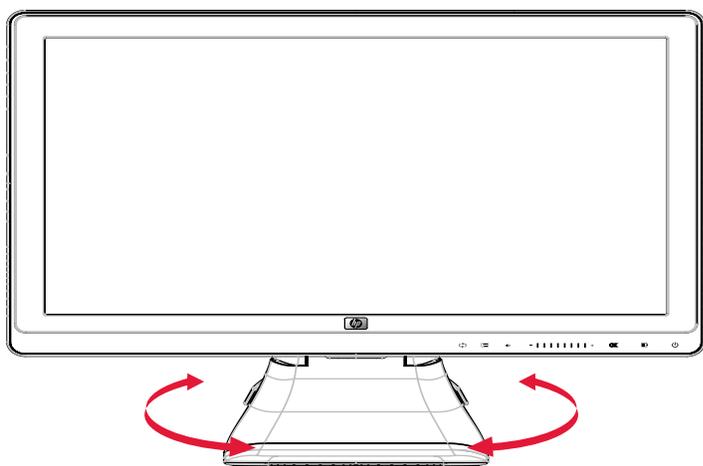
1. 上下の向きを調整している時にモニターが倒れないように、モニター台を正面から押さえます。
2. モニターの最上部を手前または奥に動かして、上下の向きを調整します。この時、画面に触れないようにしてください。



モニター角度の調整

左右の向きの調整

HP LCD モニターの左右の向きを調整することにより、可動範囲を有効に活用できます。



モニターの左右の向きの調整

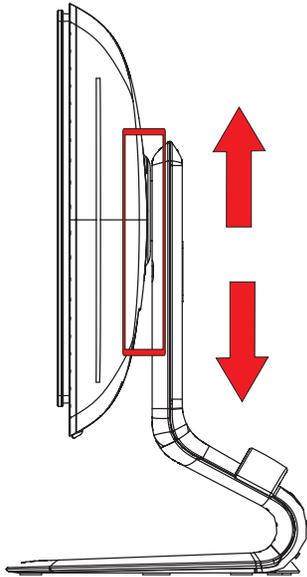


注意：向きや角度を調整しているときに LCD 画面に圧力をかけることは、故障や傷の原因になりますのでお止めください。

モニターの高さの調整

HP LCD モニターには、ロック付きの高さ調整スライダーが搭載されています。高さの調整範囲は 102 mm です。

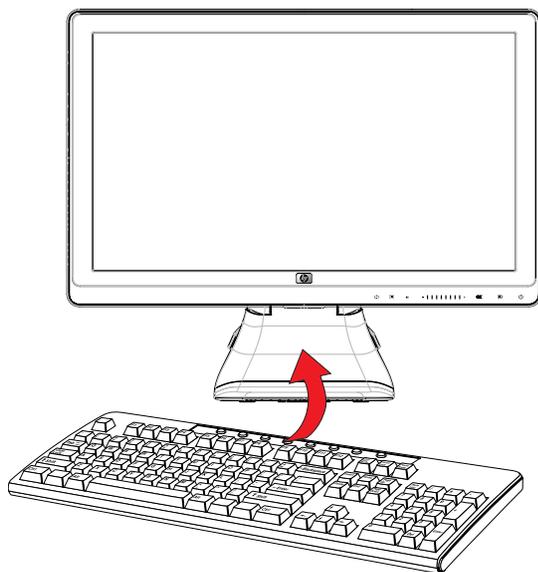
1. モニター台を押さえたままモニターを押し下げて、ロックを解除します。
2. モニターを上下に動かして、目的の位置で固定します。



モニターの高さの調整

キーボード収納スペース

キーボードを使用していない時にモニターの下に置いておくことで、机を広く使えるようになります。



キーボードをモニターの下に置く

CD ソフトウェアおよびユーティリティ

このモニターに付属の CD には、お使いのコンピューターにインストールできるドライバーおよびソフトウェアが収録されています。

ドライバーのインストール

ドライバーを更新する必要がある場合は、モニタードライバーの INF ファイルおよび ICM ファイルを CD からインストールするか、またはインターネットからダウンロードすることができます。

モニタードライバーソフトウェアを CD からインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CD をコンピューターの CD ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
2. 言語を選択し [>>] アイコンをクリックします。
3. **[Install Monitor Driver Software]** (モニター ドライバ ソフトウェアをインストールする) をクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. コンピューターを再起動します。
6. [コントロール パネル] の [画面] の設定に、適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。詳しくは、Windows® オペレーティングシステムの説明書を参照してください。



注：インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されたモニタードライバー (INF ファイルまたは ICM ファイル) を CD から手動でインストールすることが必要になる可能性があります。その手順については、CD の [Driver Software Readme] (モニター ドライバ ソフトウェアの Readme) ファイルを参照してください (英語のみ)。

インターネットからの最新ドライバーのダウンロード

最新バージョンのドライバーおよびソフトウェアファイルを HP サポートサイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. <http://www.hp.com/support/> にアクセスします。
2. お住まいの国または地域を選択します。
3. **[ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]** を選択します。
4. お使いのモニターのモデル番号を入力し、右側の矢印をクリックします。お使いのモニター用のソフトウェアダウンロードページが表示されます。
5. ダウンロードページに記載されている手順に沿って、ドライバーおよびソフトウェアファイルをダウンロードし、インストールします。
6. お使いのシステムがインストール要件を満たしていることを確認します。

Pivot Pro ソフトウェア

画面表示を縦向きまたは横向きに切り替えるには、Pivot Pro ソフトウェアを使用します。

ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CD をコンピューターの CD ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
2. 言語を選択し [>>] アイコンをクリックします。
3. **[Pivot Pro ソフトウェアのインストール]** (一部のモデルのみ) をクリックします。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. コンピューターを再起動します。

自動調整機能の使用

モニターの Auto（自動）/Adjust（調整）ボタンおよび付属の CD に収録されている自動調整用パターンソフトウェアを使用すると、VGA 入力対応の画面の画質を簡単に最適化できます。

お使いのモニターが DVI または HDMI 入力対応の場合は、この手順を行わないでください。お使いのモニターが VGA 入力対応の場合は、この手順を行うことで次の画質状況が修正されます。

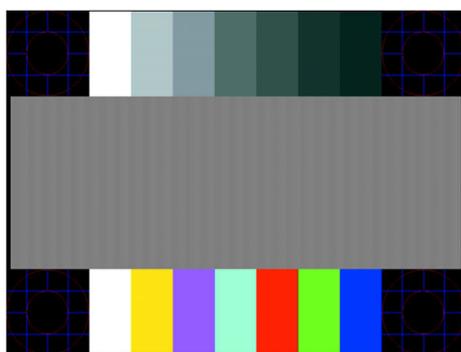
- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 画面の中央に表示できない画像



注意：モニターに長時間同じ画像を表示したままにしておく（12 時間継続して使用していない状態）、画像の焼き付きが発生することがあります。モニター画面に画像の焼き付きが発生しないようにするには、スクリーンセーバーアプリケーションを常に有効にしておくか、長時間モニターを使用しない時はモニターの電源を切るようにしてください。画像の焼き付きはすべての液晶ディスプレイで発生する可能性があります。

自動調整機能を使用するには、以下の手順で操作します。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. モニターの前面にある Auto（自動）/Adjust（調整）ボタンを押します。
 - また、Menu（メニュー）ボタンを押し、OSD メニューから **[Image Control]**（イメージ コントロール）→ **[Auto Adjustment]**（自動調整）の順に選択することもできます。「画質の調整」を参照してください。
 - 希望する結果が得られない場合は、引き続き以下の手順で操作します。
3. CD をコンピューターの CD ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
4. 言語を選択し [>>] アイコンをクリックします。
5. **[Open Auto-Adjustment Software]**（自動調整ソフトウェアの起動）を選択します。
6. セットアップのためのテストパターンが表示されます。



自動調整のセットアップ用テストパターン

7. モニターの前面にある Auto（自動）/Adjust（調整）ボタンを押して、画像を安定させ中央に表示します。

前面の各部

モニターの前面右下には、以下のコントロールボタンがあります。

アイコン	説明
	モニターの電源を入れたり、スタンバイまたはスリープモードにしたりします 注：電源ボタンは、モデルに応じて、モニターの下部または前面にあります
	OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
	音量レベルを調整します
	コンピューターからのビデオ入力ソースを選択します
-	OSD メニューの項目間を逆方向に移動したり、調整レベルを下げたりできます
	スライダーバーを使用すると OSD が起動し、選択したメニューやサブメニューをすばやく移動できます
+	OSD メニューの項目間を順方向に移動したり、調整レベルを上げたりできます
	OSD がアクティブでないときに、ディスプレイを最適な設定に自動調整します
OK	選択したオプションを入力します

オンスクリーンディスプレイ（OSD）の使用

オンスクリーンディスプレイとは、画面の手前に表示される画像のことです。モニター、テレビ、ビデオデッキ、および DVD プレーヤーで音量、チャンネル、時間などを表示するために使用されます。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. スライダーバーをタッチして OSD メニューを起動し、Menu（メニュー）ボタンを押します。OSD の [Main Menu]（メインメニュー）が表示されます。
3. [Main Menu]（メインメニュー）または [Sub-Menu]（サブメニュー）内を移動するには、モニターの前面にある +（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、-（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。OSD が起動しているときに - から + に向かって指を滑らせる（スライダーに沿って横に一直線に動かす）と、表示されているメニューまたはサブメニューの先頭にすばやく移動します。次に、OK ボタンを押して、強調表示された機能を選択します。
調整用スケールが有効なときに - から + に向かって指を滑らせると、すばやく最大値まで上がります。スライダーの途中で動きを止めると、調整用スケールは前回の設定値のままになります。
4. 選択した項目のスケールを調整するには、+（プラス）ボタンと -（マイナス）ボタンの間で指を滑らせます。
5. **[Save and Return]**（保存して戻る）を選択します。
設定を保存しない場合は、[Sub-Menu]（サブメニュー）から **[Cancel]**（キャンセル）を選択するか、または [Main Menu]（メインメニュー）から **[Exit]**（終了）を選択します。
6. Menu（メニュー）ボタンを押して OSD を終了します。



注：メニューが表示されている時にボタンを押さずに 30 秒（出荷時の設定）が経過すると、調整した値と設定が保存され、メニューが閉じます。

OSD メニューの選択

次の表で、オンスクリーンディスプレイ（OSD）のメニュー項目と各機能について説明します。OSD のメニュー項目を変更した後、メニュー画面に次のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

- **[Cancel]**（キャンセル）：前のメニューレベルに戻ります。
- **[Save and Return]**（保存して戻る）：すべての変更を保存して、OSD メインメニューの画面に戻ります。この [Save and Return] オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。
- **[Reset]**（リセット）：前の設定に戻ります。

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明
	Brightness（輝度）		画面の輝度を調整します
	Contrast（コントラスト）		画面のコントラストレベルを調整します
	Image Control（イメージコントロール）		画像を調整します。また、周辺光センサーの有効 / 無効を切り替えます（一部のモデルのみ）
		Auto-Adjustment（自動調整）	画面を自動的に調整します（VGA 入力のみ）
		Horizontal Position（水平表示位置）	画像の左右の位置を調整します（VGA 入力のみ）
		Vertical Position（垂直表示位置）	画像の上下の位置を調整します（VGA 入力のみ）
		Clock（クロック）	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock] を調整することで、画像の水平表示も変更されます（VGA 入力のみ）
		Clock Phase（クロックフェーズ）	画面の焦点を調整します。これにより、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります（VGA 入力のみ）
		Custom Scaling（カスタムスケール）	Fill to Screen（スクリーンに合わせる） Fill to Aspect Ratio（縦横比に合わせる） One to One（1 対 1）
		Sharpness（シャープネス）	画面の鮮明度を調整します
		Video OverDrive（ビデオ信号高速化）	オンまたはオフを選択します
		Ambient Light Sensor（周辺光センサー）（一部のモデルのみ）	オンまたはオフを選択します
	OSD Control（OSDコントロール）		画面上の OSD メニューの表示を調整します
		Horizontal OSD Position（OSD 水平表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します。工場出荷時の初期設定値は 50 です
		Vertical OSD Position（OSD 垂直表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します。工場出荷時の初期設定値は 50 です
		OSD Transparency（OSD 透明度）	OSD の背景にある情報を表示するよう調整します

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明 (続き)
	OSD Control (OSD コントロール) (続き)	OSD Timeout (OSD タイムアウト)	最後にボタンを押してから OSD の表示が維持される時間の長さを秒単位で設定します。工場出荷時の初期設定値は 30 秒です
		Rotate OSD (OSD 回転)	OSD メニューを横向きまたは縦向きに回転します
	Color (色)		画面の色を選択します。工場出荷時の初期設定値は、モデルに応じて 6500 K またはカスタムカラーです
		9300 K	わずかに青味を帯びた白色に変更します
		6500 K	わずかに赤味を帯びた白色に変更します
		Custom Color (カスタムカラー)	カラースケールを選択および調整します R: 赤色のレベルを設定します G: 緑色のレベルを設定します B: 青色のレベルを設定します
		sRGB	画面の色をイメージテクノロジー業界で使用される規格に準拠した色に設定します
		Quick View (クイックビュー)	メディアに応じて最適な設定で表示します Movie (動画) Photo (写真) Gaming (ゲーム) Text (テキスト) Custom (カスタム)
	Language (言語)		OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
	Management (マネジメント)		モニターの電源管理機能を調整します
		Volume (音量)	さまざまなコンポーネントの音量レベルを調整します Select Audio Auto-Detect (オーディオの自動検出を選択) Select HDMI Audio (HDMI オーディオを選択) Select PC Analog Audio (アナログ オーディオを選択) Speaker Self-Test (スピーカのセルフテスト)
		Power Saver (省電力)	省電力機能を有効にします (「省電力機能」を参照してください)。次の中から選択します On (オン) Off (オフ) 工場出荷時の初期設定はオンです
		Mode Display (モード表示)	OSD メインメニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュレートおよび周波数の情報を画面に表示します。次の中から選択します On (オン) Off (オフ) 工場出荷時の初期設定は、モデルに応じてオンまたはオフです
		Monitor Status (電源オンのステータス表示)	モニターの電源がオンになるたびに、モニターの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を次の中から選択します Top (上) Middle (中) Bottom (下) Off (オフ) 工場出荷時の初期設定は、モデルに応じてオンまたはオフです

アイコン	メインメニューのオプション	サブメニューのオプション	説明 (続き)
	Management (続き)	DDC/CI Support (DDC/CI サポート)	<p>コンピューターで、輝度、コントラスト、色温度などの一部の OSD メニュー機能を制御できるようにします。次の中から選択します</p> <p>On (オン)</p> <p>Off (オフ)</p> <p>工場出荷時の初期設定はオンです</p>
		Bezel Power LED (ベゼルの電源ランプ)	電源ボタンのランプを点灯または消灯させます。オフに設定されていると、ランプは常に消灯したままになります
		Sleep Timer (スリープ タイマ)	<p>タイマー調整のメニューオプションを表示します</p> <p>Set Current Time (現在時間の設定) : 時間と分単位で現在の時刻を設定します</p> <p>Set Sleep Time (スリープタイムの設定) : モニターがスリープモードに入る時刻を設定します</p> <p>Set on Time (オンタイムの設定) : スリープモードから復帰する時刻を設定します</p> <p>Timer (タイマ) : スリープタイマー機能のオン / オフを設定します。初期設定はオフです</p> <p>Sleep Now (今スリープ) : 直ちにモニターがスリープモードに入るように設定します</p>
	Source Control (ソースコントロール)		アクティブかつ有効な2つのビデオソースにモニターが接続されている場合に、設定されているビデオ入力信号を選択します。初期設定は DVI です。新しい設定値を有効にするには、コンピューターを再起動する必要があります。
		DVI	DVI ビデオ入力信号を受信します
		HDMI	HDMI ビデオ入力信号を受信します
		VGA	VGA ビデオ入力信号を受信します
		Default Source (デフォルトソース)	<p>DVI</p> <p>HDMI</p> <p>VGA</p> <p>工場出荷時設定は DVI です</p>
		Auto-Switch Source (ソースの自動スイッチ)	<p>On (オン)</p> <p>Off (オフ)</p> <p>工場出荷時の初期設定はオンです</p>
	Information (情報)		モニターに関する重要な情報を選択および表示します
		Current Settings (現在の設定)	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings (推奨設定)	お使いのモニターに推奨される解像度モードおよびリフレッシュレートを表示します
		Serial Number (シリアル番号)	モニターのシリアル番号を表示します。シリアル番号は HP のテクニカルサポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		FW Version (バージョン)	モニターのファームウェアバージョンを表示します
		Backlight Hours (バックライト動作時間)	バックライトの合計の動作時間を表示します
		Service Support (サービスサポート)	サービスサポートを受けるには、 http://www.hp.com/support/ を参照してください
	Factory Reset (出荷時設定にリセット)		設定を工場出荷時の設定に戻します

ビデオ入力コネクタの選択

入力コネクタには次の種類があります。

- VGA コネクタ（アナログ）
- DVI-D コネクタ（デジタル）
- HDMI コネクタ（デジタル）

有効なビデオ信号がどこに入力されているかはモニターで自動的に判別され、画像が表示されます。

VGA ケーブルか DVI-D ケーブル、またはその両方を接続できます。両方のケーブルが接続されている場合、入力方式は初期設定で DVI になります。HDMI ケーブルは DVI-D ケーブルの代わりに使用します。入力のソースは、OSD メニューの **[Switch Video Input]**（ビデオ入力の切り換え）オプション（一部のモデルのみ）を使用して変更できます。VGA から HDMI 入力ソースへの切り替えには数秒かかる場合があります。

モニターの状態の確認

モニターが以下の状態になると、特別なメッセージがモニター画面に表示されます。

- **[Input Signal Out of Range]**（範囲外の信号を入力しています）：解像度またはリフレッシュレートがモニターでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニターがビデオカードの入力信号をサポートできないことを示します。
ビデオカードの解像度またはリフレッシュレートの数値を下げます。新しい設定値を有効にするには、コンピューターを再起動します。
- **[Monitor Going to Sleep]**（スリープに入る）：モニターがスリープモードになることを示します。スリープモードでは、スピーカーの電源が切れます。
- **[Check Video Cable]**（ビデオケーブルのチェック）：ビデオ入力ケーブルがコンピューターまたはモニターに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lock-out]**（OSD ロックアウト）：前面にある Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けると、オンスクリーンディスプレイ（OSD）を有効または無効にすることができます。OSD をロックすると、[OSD Lock-out] という警告メッセージが 10 秒間表示されます。
OSD がロックされている場合、ロックを解除するには Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けます。
OSD のロックが解除されている場合、ロックするには Menu（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けます。
- **[No Input Signal]**（入力信号がありません）：モニターがビデオ入力コネクタでコンピューターからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピューターまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。
- **[Auto Adjustment in Progress]**（自動調整中です）：自動調整機能が有効であることを示します。「画質の調整」を参照してください。

画質の調整

新しいビデオモードで画像が表示されるたびに、自動調整機能によって画質（表示のサイズ、位置、クロック、およびフェーズ）が自動的に調整されます。VGA 入力をより厳密に調整するには、CD に収録されている自動調整ソフトウェアを実行します。「自動調整機能の使用」を参照してください。

画質をさらに改善したい場合は、モニターの [Clock]（クロック）と [Clock Phase]（クロック フェーズ）の機能を使用して画像を調整します。「アナログビデオの最適化」を参照してください。

アナログビデオの最適化

一部のモニターには、標準のアナログモニターとして動作できるようにするための高度な回路が組み込まれています。OSD メニューにある次の 2 つの機能を調整して、アナログの画質を向上させることができます。

- **[Clock]**（クロック）：値を増減することで、画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Clock Phase]**（クロック フェーズ）：値を増減することで、画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

自動調整機能を使用しても、アナログモードで希望するモニター画像が得られない場合にのみ、これらの機能を使用してください。

最適な結果を得るには、以下の手順で操作します。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. CD に収録されている調整パターンアプリケーションを表示します。
3. OSD メニューを表示し、**[Image Control]**（イメージ コントロール）を選択します。
4. 最初にメインの [Clock]（クロック）設定を正しく設定してください。[Clock Phase]（クロック フェーズ）設定はメインの [Clock]（クロック）設定に依存するためです。

[Clock]（クロック）および [Clock Phase]（クロック フェーズ）の設定値を調整している時にモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。

工場出荷時の設定に戻すには、OSD メニューを表示し、**[Factory Reset]**（出荷時設定にリセット）を選択してから、**[Yes]**（はい）を選択します。

省電力機能

モニターが通常の動作モードの時、電源ランプは青色に点灯し、モニターは通常のワット数を消費します。消費電力については、「技術仕様」を参照してください。

このモニターではまた、コンピューターが制御する省電力モードもサポートされています。モニターが省電力状態の時、モニター画面には何も表示されず、バックライトは消灯し、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この時、モニターは最小限の電力を消費しています。モニターが省電力状態から復帰すると、短時間のウォームアップの後、通常の動作モードに戻ります。水平同期信号または垂直同期信号のどちらかが検出されない場合、モニターは省電力状態になります。この機能を動作させるには、お使いのコンピューターで省電力機能を有効にする必要があります。

省電力機能の設定の手順については、お使いのコンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書により名称が異なる場合があります）。



注：省電力機能は、モニターが省電力機能を備えたコンピューターに接続されている場合にのみ動作します。

Web カメラ（一部のモデルのみ）

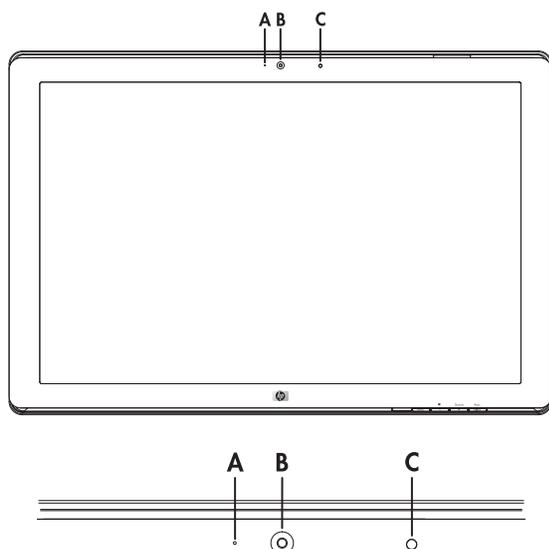
モニターに付属の CD から CyberLink YouCam ソフトウェアおよびドライバーをインストールします。



注：Web カメラを使用するには、モニターとコンピューター本体を USB ケーブルで接続する必要があります。

Web カメラを使用して、以下のことができます。

- コンピューター上のファイルから動画を作成する。
- スナップショットを作成して、表示、整理、送信、および印刷する。
- ビデオメモを作成して、カレンダーの内容を充実させたり、共有したりする。
- Windows Live Messenger または対応しているその他のソフトウェアプログラムで、ビデオチャットを行う。
- 撮影したビデオを動画作成プログラムにインポートして、保存、送信、インターネットに配信、またはディスクに記録する。



- A：動作ランプ
- B：Web カメラ
- C：マイク

Web カメラからのビデオおよびスナップショットのキャプチャ

付属の CD から CyberLink YouCam をインストールしたら、以下の手順で操作します。

1. [スタート] ボタンをクリックします。
2. [すべてのプログラム] → **[CyberLink YouCam]** → **[CyberLink YouCam]** の順にクリックします。
3. [チュートリアル] をクリックして、操作方法を説明する動画を再生します。

ビデオチャットの実施

ビデオチャットをセットアップするには、インターネットへの接続、ISP（インターネットサービスプロバイダー）との契約、およびインターネット経由でビデオ通話を行えるソフトウェアが必要です。テキストでのチャットやインスタントメッセージングソフトウェアと同じように、この種類のソフトウェアでは、1人または複数の相手と同時にチャットできます。このソフトウェアは別途購入が必要な場合があります。

録音する時のマイクからの距離は0.5 mが最適です。

ビデオチャットをセットアップする前に、以下の手順で操作します。

1. インスタントメッセージングまたはビデオ通話プログラムをダウンロードします。通話する相手が、対応するビデオ通話ソフトウェアを持っていることを確認してください。
2. Web カメラを初期設定のビデオ入力として設定します。これは通常、使用するソフトウェアプログラムの [ツール] メニューにあるビデオのセットアップを通じて行います。
3. ビデオ通話ソフトウェアプログラムの説明に沿って、ビデオ通話を行います。

CyberLink YouCam でビデオチャットを開始するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート] ボタンをクリックします。
2. [すべてのプログラム] をクリックします。
3. [CyberLink YouCam] → [CyberLink YouCam] → [ビデオ通話の開始] の順にクリックします。

モニターを運搬するための準備

モニターを運搬する時は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。



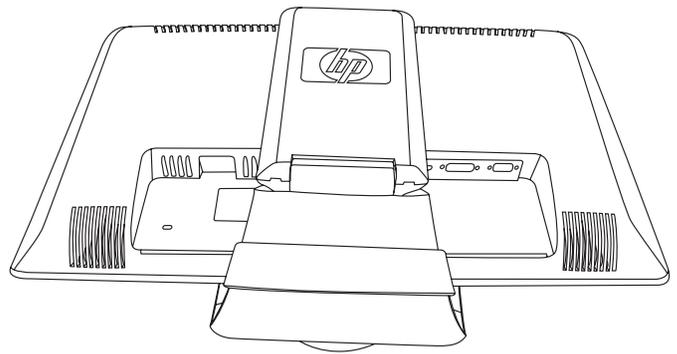
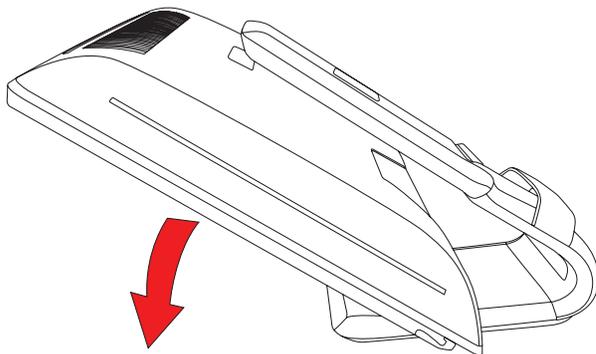
警告：モニターを折りたたむ前に、モニターの電源を切り、電源、ビデオ、およびオーディオケーブルをすべて取り外してください。装置への外部電源の供給を遮断する時は、電源プラグをしっかりと持って電源コンセントから抜いてください。コードは引っ張らないでください。



注意：画面は壊れやすいものです。モニター画面を下向きにして、平らな柔らかい場所に置くことで、傷や汚れ、破損などを防止できます。LCD画面に圧力を加えることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。

モニターを運搬するための準備

1. モニターから電源、ビデオ、およびオーディオケーブルを取り外します。
2. モニター台を下にして、柔らかい安全な場所に置きます。



モニターを運搬するための準備

3. モニター台の、モニター背面との接続部を片手で押さえたまま、モニターを前方に押し下げて折りたたみます。
4. モニターが水平になっていることを確認します。
5. モニターを元の梱包箱に収納します。

トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	解決方法
電源ランプが点灯していない	電源ボタンが青色またはオレンジ色に点灯しており、電源コードがアースされた電源コンセントとモニターに正しく接続されていることを確認します OSD メニューの [Management] (マネジメント) を選択し、 [Bezel Power LED] (ベゼルの電源ランプ) を選択します。 [Bezel Power LED] オプションが [Off] (オフ) に設定されていないかどうか確認し、設定されている場合は [On] (オン) モードに設定します
画面に何も表示されない	電源コードを接続して、電源を入れます ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは「モニターのセットアップ」を参照してください キーボードのキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
高精細度 (HD) コンテンツを表示しているときに、画面が黒くなるか、または低い解像度で表示される	お使いのモニターとコンピューターが HDCP に対応しているかどうかを確認します 「HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)」または http://www.hp.com/support/ を参照してください
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	スライダーバーで指を滑らせて、OSD を起動します。モニターの前面にある Auto (自動) /Adjust (調整) ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、Menu (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開き、輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が中央に表示されない	フロントパネルの Menu (メニュー) ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。 [Image Control] (イメージコントロール) を選択してから、 [Horizontal Position] (水平表示位置) または [Vertical Position] (垂直表示位置) を選択して、画像の位置を調整します
画面に [Check Video Cable] (ビデオケーブルのチェック) と表示される	モニターの VGA ビデオケーブルをコンピューターの VGA コネクタに接続するか、DVI-D ビデオケーブルをコンピューターの DVI コネクタに接続するか、HDMI ビデオケーブルをコンピューターの HDMI コネクタに接続します。ビデオケーブルを接続する時にコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
画面に [Input Signal Out of Range] (範囲外の信号を入力しています) と表示される	コンピューターを再起動し、Safe モードに入ります。サポートされている設定値に変更します (「プリセットビデオおよび HD モード」にある表を参照)。コンピューターを再起動し、新しい設定値を有効にします
画像がぼやけており、ゴーストや影が表示される	コントラストおよび輝度を調整します 延長ケーブルやスイッチボックスを使用していないことを確認します。コンピューターの背面にあるグラフィックスカードの出力コネクタに、モニターを直接接続することをおすすめします VGA 入力を使用している場合は、自動調整機能によってこの問題が解決されることがあります
モニターを最適な解像度に設定できない	グラフィックスカードが最適な解像度をサポートしていることを確認します グラフィックスカードでサポートされる最新のドライバーがインストールされていることを確認します。HP システムの場合は、 http://www.hp.com/support/ からお使いのシステムの最新のグラフィックスドライバーをダウンロードできます。その他のシステムの場合は、お使いのグラフィックスカードの Web サイトを参照してください
HDMI 接続時に音声が聞こえない	オペレーティングシステムで、HDMI オーディオがメインのオーディオ出力として選択されていることを確認します。これを行うには、 [スタート] ボタン → [コントロール パネル] → [サウンド] の順にクリックして、 [再生] タブの HDMI 出力の項目にチェックが入っていることを確認してから [OK] をクリックします

トラブル	解決方法（続き）
内蔵スピーカーから音声がかえらない	<p>以下のことを行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ヘッドフォンを使用して、元の音声为正しく出力されていることを確認します ■ フロントパネルの Menu（メニュー）ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。[Management]（マネジメント）→[Volume]（音量）の順に選択して音量を調整します ■ 前面の音量ボタンを使用して音量を上げます ■ スピーカーがミュート（消音）されていたり低すぎたりしないか確認します。[スタート]ボタン→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]の順にクリックして、[オーディオ デバイスとサウンド]で[システム音量の調整]をクリックします。[メイン音量]でスライダーを上動かします
プラグアンドプレイ機能が動作しない	<p>モニターのプラグアンドプレイ機能が動作するには、プラグアンドプレイ機能に対応したコンピューターとグラフィックスカードが必要です。お使いのコンピューターの製造販売元に確認してください</p> <p>モニターのビデオケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します</p> <p>HP モニタードライバーがインストールされていることを確認します。詳しくは「ドライバーのインストール」を参照してください。HP モニタードライバーは、http://www.hp.com/support/からも入手できます</p>
画像が揺れたり、ちらついたり、波模様が表示されたりする	<p>電気的な干渉を引き起こす可能性のある電気製品を、モニターからできるだけ遠ざけます</p> <p>お使いの解像度に対応した、モニターの最大リフレッシュレートを使用します</p>
モニターが常にスリープモード（オレンジ色のランプ）になっている	<p>コンピューターの電源スイッチが点灯している必要があります（電源オンの場合は青色、スリープモードの場合はオレンジ色）</p> <p>コンピューターのグラフィックスカードが所定のスロットにしっかりと差し込まれている必要があります</p> <p>モニターのビデオケーブルがコンピューターに正しく接続されていることを確認します</p> <p>モニターのビデオケーブルをチェックし、曲がっているピンがないことを確認します</p> <p>お使いのコンピューターが動作していることを確認します。それには、[Caps Lock] キーを押し、ほとんどのキーボードにある Caps Lock ランプの状態を調べます。コンピューターが動作していれば、[Caps Lock] キーを押すたびにランプが点灯または消灯するはずですが</p>
USB 2.0 コネクタが動作しない	<p>USB ケーブルをモニターおよびコンピューターにしっかりと接続します</p>

HP Web サイトからのサポート情報の入手

カスタマーサービスにお問い合わせになる前に、<http://www.hp.com/support/> の HP テクニカルサポートを参照してください。

お住まいの国または地域を選択し、お使いのモニターのサポートページへのリンクをクリックします。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートをご利用ください。テクニカルサポートのお問い合わせ先については、モニターに付属の冊子を参照してください。テクニカルサポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号（モニター背面のラベルに記載されています）
- モニターのシリアル番号（モニター背面のラベルに記載されています。OSD の [Information]（情報）メニューからも確認できます）
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生した時の状況（できるだけ具体的にお願ひします）
- 表示されたエラーメッセージ
- ハードウェア構成
- お使いのハードウェアおよびソフトウェアの名称とバージョン

製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには製品番号とシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになる時に、これらの番号が必要になる場合があります。

製品ラベルはモニターの背面にあります。

以下の仕様はすべて、HP の部品製造元から提供されている標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

HP LCD モニター

表面処理：ハードコーティング処理済み反射防止偏光子

入力端子：

- VGA コネクタ（一部のモデルのみ）
- DVI-D 24 ピン D タイプコネクタ（一部のモデルのみ）
- HDMI コネクタ（一部のモデルのみ）

仕様

2309p モデル

ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	23 インチ (58.4 cm) 対角方向
傾斜角度：	-5 ~ +25°
最大質量（非梱包時）：	7.4 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	475 × 573 × 220 mm
最大グラフィックス解像度：	1920 × 1080 (60 Hz) アナログモード
最適グラフィックス解像度：	1920 × 1080 (60 Hz) アナログモード
テキストモード：	720 × 400
ドットピッチ：	0.30 mm
水平周波数（アナログモード）：	24 ~ 94 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	50 ~ 76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5 ~ 40 °C
非動作時：	-20 ~ 60 °C
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20 ~ 80%
非動作時：	5 ~ 95%
電源：	100 ~ 240 V [~] 、50/60 Hz
消費電力：	最大 56 W
スリープモード時の消費電力：	標準 2 W 未満

仕様（続き）

2509p モデル

ディスプレイのタイプ：	TFT LCD アクティブマトリクス
表示可能画像サイズ：	25 インチ（63.44 cm）対角方向
傾斜角度：	-5 ~ +25°
最大質量（非梱包時）：	9.6 kg
寸法（高さ×幅×奥行き）：	617 × 515 × 235 mm
最大グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）アナログモード
最適グラフィックス解像度：	1920 × 1080（60 Hz）アナログモード
テキストモード：	720 × 400
ドットピッチ：	0.29 mm
水平周波数（アナログモード）：	24 ~ 94 kHz
垂直周波数（アナログモード）：	50 ~ 76 Hz
環境条件	
温度（高度には依存しない）	
動作時：	5 ~ 40 °C
非動作時：	-20 ~ 60 °C
相対湿度（結露しないこと）：	
動作時：	20 ~ 80%
非動作時：	5 ~ 95%
電源：	100 ~ 240 V ^v 、50/60 Hz
消費電力：	最大 70 W
スリープモード時の消費電力：	標準 2 W 未満

プリセットビデオおよび HD モード

このモニターでは、多くのプリセットビデオ入力モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

工場出荷時のプリセットビデオ入力モード：2309p および 2509p

プリセット	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640 × 480	31.47	59.94
2	720 × 400	31.47	70.09
3	800 × 600	37.88	60.32
4	1024 × 768	48.36	60.00
5	1280 × 720	45.00	60.00
6	1280 × 960	60.00	60.00
7	1280 × 1024	63.98	60.02
8	1440 × 900	55.94	59.89
9	1600 × 1200	75.00	60.00
10	1680 × 1050	65.29	60.00
11	1920 × 1080	67.50	60.00

高精細ビデオ形式

プリセット	タイミング名	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480p60	720 × 480	31.47	60
2	720p60	1280 × 720	45.00	60
3	576p50	720 × 576	31.25	50
4	720p50	1280 × 720	37.50	50
5	1080p60	1920 × 1080	67.50	60
6	1080p50	1920 × 1080	56.25	50

LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針

HP LCD モニターは、故障のない高い性能を保証できるようにするため、高度な規格に基づいて製造された高精度のテクノロジーを採用しています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供される LCD ディスプレイにも共通するものであり、HP LCD モニターに特有の問題ではありません。1 つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1 ピクセルは、赤、緑、青のサブピクセル 1 つずつから成ります。
- 欠陥のあるピクセル全体は常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）か、常に消灯しています（明るい画面に暗点が表示される）。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセル全体より見えにくく、また小さいため、特定の画面背景上でのみ確認できます。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニターを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュレートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ないディスプレイが生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。

お使いの HP LCD モニターについて詳しくは、HP の Web サイト <http://www.hp.com/support/> を参照してください。

電源コードの要件

このモニターの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニターは 100 ~ 240 V の AC 電圧、50/60 Hz、1.5 A で動作します。

このモニターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードは、踏まれたり、上に物が置かれて引っ張られたりしないように配線してください。また、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクターの取り扱いにも注意して配線してください。

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

有害物質の破棄

この HP 製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が液晶ディスプレイの蛍光灯に含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体または EIA (Electronic Industry Alliance) (<http://www.eiae.org/>) にお問い合わせください。

化学物質

HP では、REACH (Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council) などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、<http://www.hp.com/go/reach/> (英語サイト) にアクセスしてください。

電源コードについて

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。

同梱された電源コードは、ほかの製品では使用出来ません。

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。

日本における含有物質の表示

2008 年、日本における製品含有表示方法、JISC0950 が公示されました。製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有につきまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、<http://www.hp.com/go/jisc0950/> を参照してください。

HP リサイクルプログラム

HP では、使用済みの HP 製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。

規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HP のリサイクルプログラムについては、HP の Web サイト (<http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/household.asp>) を参照してください。

英数字

HDCP (HighBandwidth Digital Content Protection) 3-7

あ行

安全

ガイドライン 2-1

注意事項 2-1

オーディオおよびビデオケーブル / アダプター 3-6

か行

キーボード収納スペース 3-12

規定に関するご注意 C-1

技術仕様 B-1 ~ B-4

梱包を解く 3-1

さ行

左右の向き調整 3-11

省電力 4-8

仕様 B-1 ~ B-4

上下の向き調整 3-10 ~ 3-11

清掃 2-2

セットアップ 3-1 ~ 3-12

接続

DVI-D 3-5

HDMI 3-6

VGA 3-5

オーディオケーブル 3-7

電源コード 3-8

前面 4-3

ソフトウェアおよびユーティリティ CD 4-2 ~ 4-6

た行

調整

左右の向き 3-11

上下の向き 3-10 ~ 3-11

電源コード

接続 3-8

特長 1-1

トラブルシューティング A-1 ~ A-3

取り付け 3-1 ~ 3-12

は行

ビデオおよびオーディオケーブル / アダプター 3-6

ビデオ入力コネクタ

選択 4-7

保守

ガイドライン 2-2

清掃 2-2

ま行

モニター台

開く 3-2

モニターの運搬 5-1

モニターの状態

Auto Adjustment in Progress 4-7

Check Video Cable 4-7

Input Signal Out of Range 4-7

Monitor Going to Sleep 4-7

No Input Signal 4-7

OSD Lock-out 4-7

モニターのセットアップ 3-1 ~ 3-12

モニターの操作 4-1 ~ 4-9